

オホーツク地区 教育経営研究会

I 運営

- 1 目的 北海道小学校長会・北海道中学校長会、及び地区校長会が抱えている教育経営上の具体的な課題を取り上げ、その解決の方途を法制研究の視点から探る。
- 2 主催 北海道小学校長会 北海道中学校長会
- 3 後援 北海道教育庁オホーツク教育局
- 4 主管 オホーツク管内小中学校長会
- 5 期日 令和元年10月4日（金）
- 6 会場 北見市端野町公民館 大会議室
- 7 参加者 オホーツク管内小中学校長会会員他（110名）
- 8 派遣役員 北海道小学校長会会長 大石幸志氏（札幌市立豊平小学校長）
北海道小学校長会事務局幹事 児嶋大輔氏（札幌市立新陵東小学校長）
北海道中学校長会事務局幹事 笹川恒春氏（札幌市立発寒中学校長）
- 9 司会・記録 【司会】 北見市立光西中学校長 杉浦 潤
【記録】 網走市立潮見小学校長 藪下一己
【進行】 雄武町立雄武小学校長 工藤知義
- 10 日程 13時00分～13時20分 開会式
13時20分～14時40分 教育情勢報告
14時50分～16時20分 研究協議
16時20分～16時30分 閉会式

II 研究協議

1 教育情勢報告【北海道小学校長会会長 大石幸志氏】

- (1) 北海道小学校長会と北海道中学校長会の主な活動紹介
- (2) 文教施策・予算策定の要望について
スクール・サポート・スタッフ 小学校教科担任制
英語専科 3・4年生の35人以下学級 遠隔授業 等
- (3) 教員採用・人材確保について



2 各市町村校長会の実践報告と要望

(1) 働き方改革【北見市・佐呂間町・西興部村】

- ・実際の業務量の膨大さとスクラップの難しさ、教頭業務の削減の難しさがある。
- ・週休日の振替と同様に長期休業まで持ち越すなど、変形労働時間制の適用拡大を。
- ・定時退勤日を職員に月2回以上申告させ、職員室に掲示。着実に負担なく実施できている。

(2) 教育課程の整備【小清水町・大空町・雄武町】

- ・運動会の時短開催の管内的な動向はどうか。
- ・行事、会議、研修などの精選と清掃無し日課により授業時間を確保している。

(3) 人材育成（若手教員・ミドルリーダー）【美幌町・滝上町・興部町】

- ・新採用の大量採用にともない、若手育成の校内体制づくりが課題である。
- ・意図的、計画的な研修と、業務の中核を任せることで学校運営への参画意識を醸成する。

(4) 人材育成（教頭候補）【網走市・訓子府町・置戸町】

- ・女性活躍推進法に基づく女性管理職の登用に係る条件整備が必要である。
- ・教頭業務の改善、勤務の負担や重圧に見合う待遇と子育てに配慮した人事異動が必要である。

(5) 部活動【清里町・遠軽町・紋別市】

- ・管内、全道的に「部活動の在り方に関する方針」に沿った活動に疑心暗鬼になっている。
- ・合同チームが増え、合同練習の実施、初心者1年生や年度途中での合同解消等、現行のチーム編成の規定を見直す必要がある。
- ・生徒が望む部活動の設置が難しい現状があり、社会教育への移行が望まれる。

(6) その他【斜里町・津別町・湧別町】

- ・保護者からの感情的な批判に対するスクールロイヤーの実務例等を知識として知ること、学校や職員を守る対応ができるのではないかと。
- ・免許外教科担当教員を解消するための、教員配置のサービスや関係書類の「取り扱いマニュアル」が必要である。

3 質問に対する回答

(1) 北海道小学校長会から【事務局幹事 児嶋大輔氏】

① グランドデザインのグッドモデルについて

② PDCAサイクルの「C」の効果的な実践例について

- ・グランドデザインとともに、カリキュラムマネジメントと共通している。
- ・「学校力向上に関する総合実践事業」の報告を参照していただきたい。

③ 土曜授業の実施や時数確保のための特色ある取組について

- ・夏季休業を減らす、土曜日課の実施、週時数の増加など。また、家庭訪問の廃止、運動会練習の縮減、卒業式を遅らせるなどの工夫がなされている。

(2) 北海道中学校長会から【事務局幹事 笹川恒春氏】

① 北海道アクションプランに係る全道的に工夫されている取組について

- ・勤務時間の把握について、道立校では出退勤カードやパソコンのON/OFFの利用が進められている。
- ・長時間労働の改善は、留守番電話を導入した学校では保護者の理解が進んでいる。
- ・学校サポートの充実、「部活動の在り方に関する方針」の確実な実施が必要である。

② 役付き再任用や定年延長の見直しについて

- ・定年延長の情報はまだない。役付き再任用はまだ数名である。

③ 人的な教育環境整備に係る今後の見通しについて

- ・スクールロイヤー等、要望を上げていく。

④ ミドルリーダーや女性管理職の育成について地区校長会単位での取組の事例について

- ・各地区の校長会が主体となって研修が実施されている。

4 質疑：中体連合同チームの編成の在り方について

- ・基準は全国で異なる。課題としてとらえているが難しい問題もある。

III まとめ 【北海道小学校長会会長 大石幸志氏】

各市町村の校長会から出された課題や要望事項は、本道教育の課題と共通したものである。

働き方改革については、予算の違いもあることから自治体間の差もあるが、各校で様々な取組が工夫されている。専科制の拡充も効果的である。

一方で、働き方改革の目的は、教育活動の質を高め、子どもたちのためによりよい教育を実現することにある。教師の意識改革を進めるとともに、校長としての主体性をもった学校経営が重要である。今後も、北海道小学校長会・中学校長会として本日の意見を反映させて連携を強化していきたい。